
新世紀エヴァンゲリオン 天地君の受難

camiiyu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新世紀エヴァンゲリオン 天地君の受難

【Nコード】

N9742Z

【作者名】

camiiyu

【あらすじ】

鷺羽さんの実験中に美星さんによる暴走でエヴァの世界に飛ばされた天地君の物語です
新世紀エヴァンゲリオンと天地無用！魍皇鬼のコラボです

受難（前書き）

物語に対する指摘等は受け付けますが、批難等は受け付けません
ご理解の上お読みください

受難

新世紀エヴァンゲリオン 天地君の受難

ある日の鷺羽ちゃんの実験室のこと

鷺羽さんお手紙が来てますよと美星さんが実験室に来ました その時天地君はいつものごとく

鷺羽ちゃんの実験に付き合わされていました

ぜ～～～～つたいあんたはそこにある計器に触っちゃだめだよと念を押して 手紙を読み始めました

またかと天地君はあきらめの境地で

二人の様子を眺めていました

は～～～～～～あ

また何か起こるんじゃないかと、あきらめつつ心配してたところ やっぱり何か起こりました

お約束ですね 美星さんはボタンを押しました

あららららら と実験中の計器が暴走を始めました

何やってるのと鷺羽ちゃんがあわてて計器をいじり始めましたが暴走を始めた計器は止まりません

天地君はあきらめの表情で巻き込まれました

やっぱり～～～～～こうなるのか～～～～～～～～

煙が晴れるとそこには天地君がいませんでした

鷺羽ちゃんはキーボードを操作しつつ天地君の搜索を開始し始めました

あらゆる次元をもちろん自分の神としての能力を駆使して

津名魅はもちろん訪希深にも協力してもらってあらゆることを試して

やっこのことで見つけることができました

任せなさい 宇宙一の天才科学者に任せなさい
と胸を張りました
次は天地君のお話になります

中（前書き）

シンジと天地のお話

中

西暦2015年の世界に飛ばされた天地君です

ある人物の精神に憑依することになりました

飛ばされた当初はあわてていたため状況判断ができませんでしたが時間がたつ間に平静を取り戻し、ある人物との邂逅を果たすことになりました

ある人物は大けがをし、精神世界の中で天地君との邂逅を果たしますもちろんある人物も混乱していましたが時間がたつとともに平静を取り戻しました

君は誰だい、俺は柁木天地っていうんだけど

僕は碇 シンジといいます 怯えながら名前をいいました

じゃあこれからシンジ君と呼んでいいかな

はい、ではぼくはどうよんだらいいですか

そうだな

ちなみにシンジ君は何歳かな

僕は14歳です

おれは17歳だ

じゃあ天地さんとよびますね

うんそれでいいよ

状況をきこうかな

今病院にいるみたいだけど、なぜ病院にいるのかな

ええっと

父さんによばれて エヴァとかいうロボットみたいなものに乗せられて

人類の敵とか呼ばれる 化け物を倒し気を失ってるからじゃないでしょうか

そうか

いろいろあるんだな

天地さんはどうして僕の中に来たのですか

実はある人の実験中の暴走にまきこまれて、、、、

あっはっははは

慣れてただけど、こんどはここに来たというかなんというか

あはっははは ふううううう

君もいろいろあつたみたいだね

ええ父さんに捨てられたと思ったら、また呼ばれて

うううううううううううううううううううううううう

そうかつらかったんだね

シンジ君は泣き崩れ俺に慰められて

泣き止んだところで

俺にできることがあれば何時でも頼っていいんだよ

といっても精神の中ですが

天地さんてお兄さんみたいだ

裏切らない人みたいだ
父さんみたいには

シンジ君は本当につらい目にあってきたんだな
あんなに泣くほど、、、、、、、、

シンジ君も俺みたいにトラブルに巻き込まれやすい体質なんだな
これは俺が支えないとつぶれてしまうかもしれないな
弟がいたらこんなかもしれない

よしシンジ君を支えてやろう

まずはけがを治そう

天地君の備わった力

光鷹翼を展開する力を使って

目に見えない光鷹翼でシンジ君のけがを治しました

魘呼という宇宙海賊が封印されてね

興味半分でその封印を解いたことが始まりで

阿重霞さん 砂沙美ちゃんという女の人が

俺が住んでるところにきて

魘呼と阿重霞さんが大ゲンカするは、宇宙に連れ出されるはで

ちなみに

阿重霞さん 砂沙美ちゃんは俺のじっちゃんの妹で

第二皇女 第三皇女なんだ

いろいろあつて落ち着いたところに

美星さんというギャラクシーポリス（GP）の1級刑事がきて

神我人いう宇宙海賊が攻めてきてやっ

俺が皇国の血をひくものだとわかり

神我人をやっけたそれからいろいろあつたよ

ふ~~~~~

光鷹翼という力は俺だけの力で起こしてるんだ

シンジ君を治した力も光鷹翼という何物も通さない

攻撃も防御も完ぺきにできる力

といつても、本当に危機が起きないと

発揮できないけどね

だからね

シンジ君よく聞いてね

おれは確かに一般人とは言えない力を持つてるけど

純粹に人間なんだよ

ただの人間なんだよ

覚えておいてね

力があるうとも、姿形が違ってても、生まれがどうかなんて

些細なことなんだよ

自分が人だと持ったらとことん信じてあげなよ

これからえあう人々を信じてあげてほしい シンジ君

これはおれが今まで生きてきて実感したことだから

天地さんいや天地兄さんて呼んでいいですか

いいけどどうしたの？

僕の目標になってください！

お願いします！

中その3

いいよおれも弟ってほしかったから

よろしくお願いします天地兄さん

こちらこそよろしくお願いしますシンジ

素敵な笑顔だねシンジ

男の俺でも好感が持てるね

ところで天地兄さん

阿重霞さん美星さん砂沙美ちゃん魇呼さん

女の人はかり出てきてますけど

どういった関係なんですか

ええっとどういったらいいのかな、、、、、、、、、、

恋人なんですか皆さん、、、、、、

恋人ではないんだけど、、、、、、、、

好きっ、、、、、、、、、、何言わせるんだよシンジ

あはははは兄さん照れてる、、、、

怒るよシンジ

うっうん

話を変えろぞ

シンジはエヴァというものに乗せられたといったね
どういった経緯でそうなったのかな

4歳のころ父さんに捨てられて

おじさんという人のところに預けられて

そこで暮らしてたんだけど

突然父さんからここに来いという手紙がきて

第三東京市の駅について

葛城さんという女の人が出て

父さんはネルフというところで働いていることを聞かされて

車に乗せられてネルフ本部連れ込まれて

赤城さんという女性が出て

(このこがそうなの、)

(この子が適格者なのリッコ)

(そう、サードチルドレン)

何のことかわからずに聞いてたんだけど

サードチルドレン 適格者 何話してるのかな

暗いところに連れてこられて

いきなり明かりがついて

ロボットの顔が現れた

びっくりしてるところに

父さんがきて

お前が乗れと言ってきた

そんなのできないよと言ったら

お前には失望したとか言っ

上で白髪のおじいさんになんか話してた

レイを呼べとか言ってきた

ストレッチャーに乗せられた女のがきて
ものすごい大けがしてるのに
無理やり起きそうなので
僕が寝てていいよと言って

父さん、僕が乗ります！

女の子がけがしてるのもかわららず乗ろうとしてるのに
僕がうじうじしてたらだめだから

それから、赤城さんが動かし方を教えてくれて
無我夢中で戦った
そして爆発で気を失って
天地兄さんと知り合った

そうかシンジ

とりあえずわかったよ

これからどうしようか、相談しよう

まず、俺がシンジとどうかしてることは
内緒にしておこう
疑われたくないだろうし
闘いになったときは俺がアドバイスできたら
アドバイスしよう

わかりました兄さん

後はその時そのときめよう

シンジに目覚めの時が来たようだ
またあとでな

はい兄さん

中その3(後書き)

次はシンジ君が目覚めます

思わぬ珍客（前書き）

あけましておめでとございます
今年も拙い小説をごひいきに

天地世界ではおなじみにひとさわがせな天才科学者の登場

思わぬ珍客

目覚めたシンジ君

お約束のお言葉

知らない天井だ シンジ

知らない天井だな 天地

あつあたまに包帯が巻かれている そうか頭から血を流してたって
兄さんいつてたな

今天地君とはリンクしてないんです

呼び掛けたらリンクが再開する約束だそうです

けがは兄さんが直してくれたからいいんだけど

カモフラージュしてないといけないから

医者がいいというまで

つけてるけど

少し気になることがあるから ナースステーション
に行こうとおもう

ナースステーションに来ました

すみません

は~~~~い何かな~~~~にやにや

カニの形の髪の毛をした看護婦さんがきました（言わずと知れた
のお方）

どうしたのかな 天地殿

天地世界ではおなじみですね、

ちなみにシンジどの天地殿以外は見えてません

幽霊みたいなものかな シンジ

みんなはどうしてるの 鷺羽ちゃん 天地
そりゃ 大慌てでさ

あえかどのはヒステリーを起こすは
ささみちゃんしんぱいして寝込むは
ノイケどのは平然と家事をこなしえる
ただし 心配してるけど

勝仁殿は相変わらず飄々としてる
りょうこは以下同文

美星殿はりょうこに半殺しされてる
じゅらい王家の方々は面白がってる

でもまだ見つかったことは話してない
でも皇家の木々を通して
うすうすはしってるかもね 瀬戸どのは

これからのことを話し合いましょーう 鷺羽

シンジが教えてくれたことを包み隠さず鷺羽に話す天地

シンジを助けていこうと思う

天地兄さんにお任せします

思わぬ珍客（後書き）

人物の名前につっけてるかぎかつこをを省略します
皇家の方々のお名前はすみません変換しづらいので
平仮名とさせていただきます

レイ（前書き）

レイとの会話です
ミサトの再登場

レイ

そつだ昨日の大けがした女の子のところに行こうと思つてたんだ
そのためナースステーションに行つたんだつけ
逆戻りで病室のもどつたんだ

その子なら隣の病室にいるよ 鷺羽

え そうなんだ

お見舞いに行かなくちゃ

けが自体は大したことはないんだけど 鷺羽

骨折や内臓損傷を大したことはないと言ひ張る天才科学者
すぐに直せるからね であらめなこと言ひ 鷺羽

いや~~~~面白い素材だったから もう完治させちやつた

え シンジ

でも見た目は大けがしてる状態にカモフラージュさせてる 鷺羽

面白いね りょうことおなじだったよ

りょうこはね 私の卵子と宇宙生命体マスとのハイブリッド
いわゆる娘さ 鷺羽

じゃああの女の子もそうなんですか シンジ

そう 使徒リリスと君のお母さん 碇ユイ殿の遺伝子を組み合わせた
ハイブリッド生命体 でも人間だよ

ちなみにシンジ殿との血のつながりはないよ 兄弟じゃないよ
あんぐんなことやぐんなこともできるよ

もちろんうふふふふ 鷲羽

昨日も言ったと思うけど

力があるうとも、姿形が違ってても、生まれがどうかなんて
些細なことなんだよ

自分が人だと持ったらとことん信じてあげなよ

これからえあう人々を信じてあげてほしい 天地

わかっています兄さん

さてお話はまたあとで

御姫様に会いに行きましょう 鷲羽

こんこん

こんにちは

中をのぞく シンジ

起き上がってる少女

だれ

ええっと 僕は碇 シンジ

入っでいいかな

勝手にすれば

おずおずと入るシンジ

けがの具合はどう

大したことはないわ

確かに完治してゐるんだから大したことはないな
見た目は大けがしてゐるんだから
これがカモフラージュとは思えない出来映え

碇って言ったわね 指令の知り合い？

うん 息子だよ

息子 子息 子供 長男…… 無限思考に入る少女

あの もしもし きみ？

なに？

名前 教えてくれる？

レイ 綾波 レイ

レイさんっていうんだ

ぼう~~~~~レイの顔を見てるシンジ

何か用？

隣に入院してるんだ　また来てもいいかなレイさん

かまわないわ

ほっ　シンジ

また明日来るね

さようなら

できればまた明日って言ってほしいな

それは命令？

いや　僕のお願いだっよ

しばらく熟考のレイ

了解

また言うね

また明日　シンジ

また明日　レイ

きれいな女の子だなレイさんは

笑顔見せてほしいな　どんな笑顔なんだろう

そこに見舞いに來た葛城ミサト

あれ〜シンジ君どうしてレイの病室から出てきたのかな　にやにやしてるミサト

ええっと昨日大けがした女の子が気になって
ナースステイションできいたんです

どうだったシンジ君　かわいい子でしょちょっと無表情だけど
惚れたのかな？　からかうミサト

そんなんじゃないありません！真っ赤な顔をしてるシンジ
怒って行っても説得力がないシンジ

ただのお見舞いです！

自分の病室に帰ってしまいました

あちゃ〜〜〜からかいすぎたミサト

まっいつか

からかうネタを仕入れたミサト　まるでどこかの鬼姫みたいな
顔をしていました

今日はいろいろありすぎました　早く休みますね

兄さん　鷺羽さん

了解 天地 鷺羽

鷺羽ちゃんにお願いあるんだ

シンジにはあまりおかしな実験等は

しないほしい

俺とは違ってあちらのことはあまり話してないから

無用な混乱ははおこしたくないから

わかってるよ天地殿

俺自身のこととか家族構成ぐらいしか話してないから

遺伝子情報くらいしか採取しないさ天地殿

しかし興味は尽きないねこちらは

ネルフとか言ったね

おもしろいことが始まりそうだ

科学者の血が騒ぐよ

あゝあシンジでできるだけかばうからね鷺羽ちゃんから

レイ（後書き）

レイの素性を知るシンジ君

ミサト再登場でもこのこのミサトはあのミサトです
ネタバレになるのでこれまでにします

エヴァ（前書き）

初号機に入り込んだ鷲羽
どうなることやら

エヴァ

エヴァの中に入った鷺羽ちゃん

二つの意識に気が付きました

一つは子供のような意識
もう一つは大人の意識

起きてきた二つの意識

子供のほうはもう一度眠らせ
おとなのほうは眠らせずにしました

話があるからおこしました
私の名前は白眉鷺羽
あなたのお名前は？

碇 ヌイと申します

ではユイさんとよぶわね
あなたなぜこの中にいるの？
事情はあるのは分かってる
なぜ自分の子供を捨ててまでこの中にいるの？
自分の子供はかわいくないの
どんな仕打ちを受けたことは知ってるの？

答えなさい碇 ヌイ

え どういうことですか？鷺羽さん

いいわ話してあげる

あなたのご主人の碇ゲンドウは自分の子供を
遠いほとんど他人に近い親戚に預けたのよ
ほんのはした金だけ渡して 養育費すらも渡さずに

えっ そんな馬鹿なゲンドウさんに限って
あんなにシンジをかわいがっていたのに
どうして どうして
涙ぐむユイ

シンジ殿がどんな境遇に陥ったか
あなたにわかるの？
4歳の子供が親に捨てられたなんて
それも両親に
どんなにさびしかったでしょうね
どんなに心細かったでしょうね
親ならどうしてそんな仕打ちができるの

まして親戚といっても赤の他人に近い関係
なのに
4歳のころから家事手伝いをさせられて
料理がまずければせっかん いろんなことに
シンジ殿は耐えてたのよ
あなたが迎えに来てくれることを信じてね
心の中でね 顔には出さずに
耐えてたのよ

あなたはこの中でシンジ殿を守らないといけないわよ

涙ながらにうなずくユイ

許すまじ ゲンドウ

ゆるさない

私はあちらに マギのほうに行くわね

よく考えてこれからシンジどのを守りなさい

エヴァ（後書き）

エヴァでのユイとの邂逅を果たした鷺羽ちゃん
あちらでの騒動をお楽しみにしてください

マギの進化（前書き）

エヴァでのごとを終えた鷺羽

マギシステムに入り込んで

赤木ナオコとの邂逅

マジの進化

シンジ殿が言ったロボットやらをのぞいてこようかね
アストラルボディだからどこにでも入り込めるからね
検査機器なんてちよろいちよろい
この鷲羽ちゃんにかかればね

ネルフ本部のもぐりこんだ鷲羽ちゃん
エヴァの中でユイとの邂逅を果たし
まずはこの心臓部ともいえる
コンピューターに入りこみました
MAGIというんだね

ほうほう

三つのコンピューターの合議制で決めるシステムなんだね
少しいじってみようかね

シンジ殿や 天地殿の邪魔にならない程度に

MAGIの最深部に入り込んだ鷲羽ちゃん

おやおや？

これはまた居妙なことがあるもんだね
皇家の木に似た感じがすると思ったら

生体コンピューターとはね

ふむふむ

女の思考するタイプに 母親の思考するタイプ
科学者の思考するタイプね

また原始的な生体コンピューターだね

こら起きなさい 起きなさい

何よもう人がせつかく寝てたのに

あなた誰なの

私は宇宙一の天才科学者プロフェッサー鷺羽ちゃんよ

ちよつとあなたに聞きたいことがあったのよ
で名前は

赤木ナオコよ 行き成りたたき起こして

何よもう

よくもまあこんな原始的なコンピューターでねてられるわね
あきれるわ

げ、、、原始的、、、、、、よくも言ったわね
これでも世界最高のコンピューターよ

よくお聞き

確かに生体コンピューターを開発したことは褒めてあげるわ
上には上がいることを考えなさい

一台のコンピューターでできるんだよ

こんなことは

できるといふなら証拠を見せて

うおっほん

いいわ見せてあげる私の世界の

この鷺羽が開発したものを

ちよつと来なさい

お互い アストラルだから

どんなこともできます

アストラルだけならことシンジの世界との行き来は

鷺羽ちゃんが開発してます

天地世界のG Pアカデミーに連れてこられた

赤木ナオコは驚くやら、びっくりして呆然としていました

いい世界最高なんてうぬぼれてはいけない

テクノロジ―は日々進化してるんだから

あんたも科学者の端くれなんだから

寝てていいわけないでしょ

わかってるわよあなたに言われなくても

こんな素晴らしいものを見せられたら

科学者の血が騒ぎます

さて向こうの世界に帰ろうかね

やることは分かったみたいだから

シンジの世界に帰ってきた二人は
マギのsuper versionアップにとりかかりました

もちろん マギの最深部ですから外に漏れることはありません
赤木リツコが気が付かないほど
巧妙に隠されていました

とりあえずダブル思考できるようにしましょう
表は今まで通りの思考

裏はより複雑な思考ができるように
最深部は完ぺきなブラックボックス化することにしました

表のマギメルキオール、バルタザール、カスパーは今まで道理の仕様
裏はもちろん マギ鷺羽 マギ津名魅 マギ訪希深となすけました

もちろんどのマギも天地君やシンジ君の敵になることはしませんし
できません
なぜって鷺羽ちゃんだから

朝までに終わったようです

天地殿 シンジどの頑張って
下準備は終わったからね

マギの進化（後書き）

さてさてシステムバックアップはおわったようです
これからどうなることやら

最深部（前書き）

エヴァとマギの仕込みをおわった
鷺羽ちゃん

次の悪だくみをお楽しみください

最深部

システムやエヴァの仕込みをおわった鷺羽ちゃん
どうもおかしな気を発揮する所に気が付いた
いろいろ探る間に
ネルフ本部最深部に到達しました

これは！

失われた古代先史文明の遺物ににてるわね
ええっとなんて言ったかね
リリースシステムに似てるわね

使うものの心理思考を読み取るキーシステム
キーロングヌスのやり

リリースシステムとロングヌス

鷺羽ちゃんは自身の持つ探査システムを駆使して
リリースシステムとロングヌスをなめるように探査しました
ほ~~~~~

コピーとはいえよくできてるわね~~~~感心するよ

ただしこれをコピーするだけの技術はシンジの世界には存在してま
せん

何らかの異星人が介入したことは間違いないでしょう
でもこの物語ではかんけいがないので割愛します

でもコピーはコピー決定的な欠陥を発見してしまいました

一度発動してしまうと何もかも壊してしまう、言い換えれば暴走してし暴走した後になのもなくなってしまう荒涼とした世界しか残さない

本来のシステムは 無開発惑星を開発するためのシステムです
リリースとアダムそしてロンギヌスこの三つがそろわないと発動しないシステムです

でも今あるコピー製品は
いけにえとなるものが需要です
それもうら若き無垢な少女

誰と誰かいまいわなくてもおいおいわかるでしょう

このままじゃいけないね こんなもの発動したら
この世界が壊れちまう、

どうしたものかね そうだシステムの根幹に関するものを
書き換えてしましましょう、
うふふふ

あれをこうしてこれをこうしてそれをこうして
いろいろいじってしまつた結果

天地殿にしか反応しないようにしてしましましょう
この世界の人々がどんなにいじろうとも
天地殿以外は

にやりつ 鷺羽ちゃん独特の笑いが発動しました

リリースシステムはこれでいいね

もう一つ

これは人との尊厳とか無視しまくる行為
良い行為で行えばこれほどよいもの

でもそこに漂うものはなにもうつさない、反応しない
たださまようっているだけのもの
そう

綾波 レイのコピー

かすかにレイの魂の残滓が残ってるレイのコピーたち
このままじゃいけないね

いぜん魍皇鬼が鷲羽の研究室にいたときマスが集まってきた
魍皇鬼が女性体になったように

レイも補充してしまうことを思いつきました
もちろん今すぐするわけではないので

レイちゃん楽しんでおいてね

そこに漂うレイのコピーたちよ

おまえたちはどうしたいかききたい

さすが三神の頂神の長女、ものすごい威厳をもって告げました
このまま器としての生涯を終えたいかそれとも
今上にいる綾波レイを助けるために使われたいか
答えなさい

しばらくして レイちゃんは答えました
微弱な意識を持って

私たちは補完計画を実行するためにうみだされたもの
レイのコピー 悲しそうな波動をだしながら

もしかかなうなら 今上にいる姉妹のレイのために何かできるなら
あなたに何もかもゆだねます

わかったよ レイ

では今は静かに私が作ったところに移動させます

はい

さて レイちゃんズはこれでいいわね

なにもいなくなった水槽に鷺羽ちゃん人形を入れておきましょう
たくさんね

第二期最終の時にでてきたDrクレールにつかまっていた時に
鷺羽ちゃんが身代わりにした鷺羽ちゃん人形

鷺羽ちゃん独特の嫌味を聞かせた人形
見るものが見たらただの鷺羽ちゃんの人形
ただし他のものが見たらレイが漂ってるように見える
そんないたずらをこの水槽に施しました
決して見破れないいたずらです

ふふふふ完ぺきだ 鷺羽ちゃんすごい 鷺羽ちゃん宇宙一
そうテレビ版ででた鷺羽ちゃん応援団です

宇宙一の天才科学者にかかれればちよるいもんだよ
深夜の空間に笑い声がこだましました

鷺羽ちゃんの介入により　ゼーレおよび碓　ゲンドウの補完計画は
完全に破綻しました、どんなに行おうとも
うんともすんとも実行できなくなりました

さて道化師たちゼーレ　碓　ゲンドウには踊っていただきましょう
さいごまで道化師として

鷺羽ちゃんの手にある裏死海文書そう碓　ユイの解読した裏死海文書
ただのシステムの取扱説明書を大事そうにありがたがってる
ゼーレの老人たち　碓ゲンドウがあわれに思えます

では次のお話までしばしサヨナラです

最深部（後書き）

早々に補完計画が破たんしました
どうなることでしょう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9742z/>

新世紀エヴァンゲリオン 天地君の受難

2012年1月2日11時50分発行